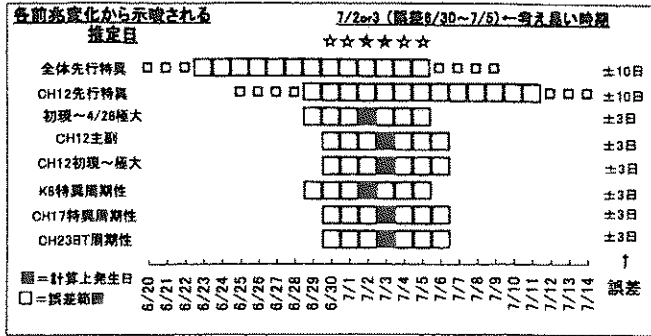


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995



No.1778 近畿圏地殻大型地震の可能性
推定前兆 続報 前兆減衰傾向

- ◆CH12 歯齧前兆・CH23 基線幅増大BT ←完全終息
- ◆CH17 特異・K6 & K8 特異 ←終息に向かって減衰中

本年七月初旬で丸5年前兆継続となる、本観測歴上最長継続前兆を示す多数極大が出現した極めて特殊な前兆=No.1778前兆の続報です。

本年4月末から第5ステージに入ったと認識しています。この第5ステージ前兆群では、4/28のひとつだけが極大と認識。第5ステージに入って既に一月以上が経過しますが、極大がひとつであることは、2008年からの前兆出現状況を見ても異例の様です。従って、現在が最終段階である可能性も示唆されます。現在の認識が仮に正しい場合には、今月17日±頃に前兆終息が確認されることとなります。CH12歯齧は、4/6極大に対しても6/11±、5/21極大に対しては6/22±が前兆終息時期と計算されますが、既に6/2以降完全に歯齧前兆は消滅しています。CH21特異も完全糸状特異から、時々基線を記録する様に変化中。現在顕著継続のCH6 特異をはじめCH21等が今月17日±頃終息すれば、現推定の7月2日又は3日(誤差6/30~7/5)時期発生の可能性が示唆されます。今月下旬段階でも前兆が終息しない場合は、第6ステージに突入し、発生はまだ先となる可能性となります。また前兆状況を続報させて頂きます。

